

手賀沼流域

協働調査結果(平成29年度)

湧水



手賀沼流域の各湧水地点で、平成29年度に実施した春季・冬季の湧水量とパックテストによる硝酸性窒素濃度調査結果の平均値をまとめました。

【参加団体】

我孫子市環境レンジャー、印西市環境推進市民会議、大津川をきれいにする会、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、神崎川を守るしるいハルノの会、白井環境ネットワークの会、白井社会ボランティアの会、白井の自然を考える会 ※五十音順
 柏市、我孫子市、印西市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県（事務局：環境生活部水質保全課）

“硝酸性窒素”とは…

硝酸性窒素は、水中では硝酸イオンとして存在しています。湧水の硝酸性窒素濃度が高い場合には、周辺の土壌等から、硝酸イオンが混入していると考えられます。硝酸イオンの負荷源としては、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたものや、農地の肥料等が考えられます。

地下水の環境基準（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素）は10mg/L以下とされており、これを超えると好ましくありません。

春季の硝酸性窒素濃度が10mg/Lを超える値を示した。

冬季の硝酸性窒素濃度が10mg/Lの値を示した。

もっと知りたい人は…
 手賀沼水環境保全協議会
<http://www.tesuikyo.jp/>